

## 令和3年度事業報告

### 1. はじめに

平戸市シルバー人材センターは、平成3年の設立以来、定年退職者などの高齢者に、長年培ってきた知識や技能・経験を活かした業務を提供するとともに、高齢者の生きがいの充実と地域社会の活性化に取り組み、当年設立30周年を迎えることとなりました。今後は、これまで以上に地域に信頼されるシルバー人材センターを目指して参ります。

さて、現在長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域経済や日常生活に大きな影響を及ぼし、当センターにおきましても、多くの制約を受け、設立30周年記念式典、会員交流親睦旅行が中止になり、定時総会、地域班会等も少人数規模の開催や一部中止を余儀なくされました。

令和3年度は感染防止対策を取りつつ、平戸市シルバー人材センター中期計画（2018年～2024年）に基づき、「一人一会員入会」を基本として、女性会員の増強を中心に「会員拡大」と「就業拡大」を重点事業として取組んできました。

令和3年度の事業実績は、年度末会員数が245名、新入会員は、前年度より10名増加の25名、退会会員は5名減少の30名、前年度と比較して5名の減少になりました。

受託事業においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響で民間事業所・一般家庭が発注を控える事態が続いていましたが、民間事業は、前年度と比較すると受注件数は26件の増加、契約金額は1,052千円の増加になりました。公共事業は、前年度受注した台風災害による流木等処理業務がなかったため、例年受注している契約金額に止まり、契約金額は2,856千円減少し契約金額合計は、108,511千円、前年度比98.4%になりました。

派遣事業の契約金額は41,896千円、前年度とほぼ同額になっていますが、民間事業所からの受注がなく派遣先の新規開拓が課題になっています。

一方、安全就業については、安全・適正就業委員会による毎月1回の安全就業巡回指導の実施、職群班長会や地域班会においての事故内容の説明による安全対策の徹底を図りましたが、傷害事故4件、賠償事故2件が発生しております。安全就業はシルバー人材センター事業遂行の基本であり、引き続き傷害・賠償事故の撲滅を目指します。

事務局運営につきましても、国、市の厳しい財政状況の中で、一層の事務の合理化と経費削減に努めてまいりましたが、今後とも会員、役職員が一体となって事業推進を図り、地域に貢献するセンターづくりに取り組み、市民の皆様から愛され信頼される事業展開を積極的に努めてまいります。

以下、令和3年度事業内容について、次のとおり報告致します。

(1) 会員数及び契約状況の推移

①会員数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会員数	270人	250人	245人

②受託事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
就業実人員	209人	188人	181人
就業延人員	19,872人	18,276人	17,526人
就業率	77.4%	75.2%	73.9%
受注件数	2,099件	1,927件	1,947件
受注契約額	110,489千円	110,315千円	108,511千円

③派遣事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
就業実人員	68人	54人	52人
就業延人員	5,485人	5,400人	5,252人
受注件数	13件	11件	10件
受注契約額	43,841千円	41,917千円	41,896千円

④契約状況（受託事業+派遣事業）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受注件数	2,112件	1,938件	1,957件
受注契約額	154,330千円	152,232千円	150,407千円

(2) 高齢者の就業の開拓と拡大について

①1人暮らしの高齢者の生活支援として実施しています「ワンコインまごころサービス事業」は昨年とほぼ同数の1,252件の実績になっています。

また、介護保険制度の見直しにより、シルバー人材センターにおいても事業ができることとなった、比較的軽度の要支援1・2の方たちへの家事援助サービスである「平戸市訪問型サービスB事業」は市との連携で推進し、利用者13人に対し、延べ330回訪問しました。「ワンコインまごころサービス事業」と併せて今後とも市内全域に周知を行い、更なる推進を図って行きたいと考えております。

②独自事業については、腐葉土の販売も順調な推移を示しております。

③会員の確保については、安定的なシルバー事業の展開を図るため、会員の確保推進を図ってまいりました。ホームページや長崎県シルバー人材センター連合会の事業による新聞折り込みチラシ等で周知を行い、入会説明会を毎月第3火曜日に実施しました。

### (3) 組織運営体制の確立

①会員主体の就業体制の確立を目的として、地域班、職群班、事務局との連携を強化し、より一層の適正就業に向けた取り組みを行ってまいりました。

②職群班は、班長を中心に現場確認、見積もり等を行い日々の作業計画を立て班員に周知、作業の安全と適正就業に努めております。

③地域班会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で班長、副班長のみでの開催や中止した班もありました。会員から頂いた意見、要望等については、今後の各委員会の機能強化と事業運営に生かしてまいります。

### (4) 安全就業についての啓発・指導・適正就業の徹底について

会員の安全に対する意識を高め、就業中及び途上の事故防止と健康増進に努めるため、現場での就業実態の把握、安全就業の声かけと作業時の防護具着装の指導を行ってまいりました。今後とも安全就業により一層の取り組みを行ってまいります。

### (5) 普及啓発活動の推進

①広報誌の発行や、ホームページによりシルバー事業のPR等の広報啓発活動を行いました。

- ・会報「シルバーひらど」年1回発行

- ・「事務局だより」会員と事務局間の各種情報の共用化を図るため、2か月に1回発行し、地域班長を通じて全会員に配布

②10月の普及啓発月間に合わせ、地域班によるボランティア活動を各地の公共施設で実施して、一般市民への啓発を図りました。

③作業に使用する会員個人所有の軽トラックに「平戸市シルバー人材センター」のマグネットを貼り付けており、また、作業場所に幟をたてて就業を行っています。

事業概要は以上のとおりであります。詳細につきましては次頁以降の諸表の示すとおりです。